



世界で唯一
非武装！
永世中立国

コスタリカ

「Go for PEACE!! 『軍隊をすてた国』



「コスタリカからの風」
軍隊のない国、コスタリカ！
軍隊がなくて、大丈夫なの
子どもも選挙するって、ほんと？
平和をつくるってどういうこと？



日時 2011年2月12日 (土) 13:30開場 14:00開始

場所 藤枝市文化センターホール

チケット 大人前売1000円 (当日1500円) 大学生500円 高校生以下200円

主催 エバーグリーン 足立力也平和のつくり方講演会実行委員会

連絡先 山口 (629-4738) george-y@ca.thn.ne.jp

橋本 (090-1864-4887) hashijun@xf7.so-net.ne.jp

後援 藤枝市教育委員会

足立力也平和のつくりかた講演会

足立力也プロフィール

日本で唯一のフリーランス・コスタリカ研究家。

1973年福岡市生まれ、福岡県嘉穂郡桂川町在住。

立命館大学大学院国際関係研究家修士課程卒。

1999年から2001年にかけてコスタリカに滞在し、

コスタリカ国立ナシオナル大学大学院ラテンアメリカ思想学博士課程中退。帰国後、コスタリカ事情、平和、人権、教育問題などに関する講演や執筆を続け、コスタリカ・ピースツアーガイドを務める。



"Pura Vida!"

コスタリカを一言で表せと言われれば、生活したことのある人ならほとんどはこの言葉を挙げるでしょう。そう思えるほど、この言葉はコスタリカのキーワード化しています。

街で友達と会ったとき、誰かがオヤジギャグをすっ飛ばしたとき、「よっしゃ！」というとき、別れのとき…。様々な場面で、この言葉は使われます。「元気？」「そいつはいいや！」「またな！」などなど、場面に応じてその意味も百変化を遂げます。

日本語には「どうも」という便利語があるが、まあそんなようなものです。ただし、コスタリカは瘦せても枯れてもラテンの国、そんなにおとなしくない。常に元気に、"Pura Vida!"（ぷら・びだ！）のヒトコトで、何だっけ通ってしまう、はじけた国なのです。

因みに、この言葉を英語に訳すと、"Pure Life"。日本語だと「純粋な生活」といったところでしょうか。つまり、純粋で素朴なことが、彼等にとってはいちばんの美德なのです。がつつ働いてお金をもうけても、人生は豊かにならない。それより、人生の限られた時間を大事にして、ゆったりと暮らすほうが、豊かで幸せな一生を送れる。それが、多くのコスタリカ人の考え方です。

反面、それは小さな事を気にしないということでもあります。細かいことまで気になる日本人にとっては、つつい気になってしまうことも…。

例えば、スーパーで買い物をしたとき、レジのおばちゃんが勝手にお釣りを四捨五入してお客さんに渡したりすることがよくあります。こちらとしては、多いときは問題ないですが(笑)、少ないときには「おいおい」といいなくなってしまう。このような光景は日常茶飯事なのですが、まあ、多いときも少ないときもあるので、通算すればブラマイゼロだろうと思うのですが…（もしかして騙されてる？(笑)）。

しかし、にこっと白い歯を見せられて"!Pura Vida!"と言われると、どんなことでも取るに足らない些細なことのように思えてくるから、不思議なものです。こだわるところはとことんこだわるが、小さいことは気にせず、「純粋に」人生を楽しもうじゃあないか。コスタリカに住んでいると、自然にそういう気持ちになっていくのです。

おもしろいのは、コスタリカでは政治の世界でも「純粋で素朴なこと」がよいことだという考えが強い、ということです。10年以上前、私はある政府高官にインタビューしたことがあります。その時の話が、私がコスタリカにのめりこむ原点になっています。しかも、その高官が私に語った言葉は、今考えると、みどりの理念そのものでした。

その高官は私に何を語ったか？…それは、講演会のお楽しみ、です（^^）